

2021年 11月23日

核融合科学研究所の新展開

「ユニット」と「プラットフォーム」

核融合科学研究所

吉田善章

核融合科学研究所の状況と課題

- **時代背景**

 - LHDフロンティア促進事業の終了(2022)

 - 「LHD研究所」 → 新たなアイデンティティ

- **学術界からの要請**

 - 核融合科学の「分節化」「学際化」

- **核融合コミュニティからの要請**

 - 核融合炉開発ロードマップへの「学術的」貢献

核融合研の転換：集中から展開へ

2017

LHD プロジェクト
(フロンティア促進事業)

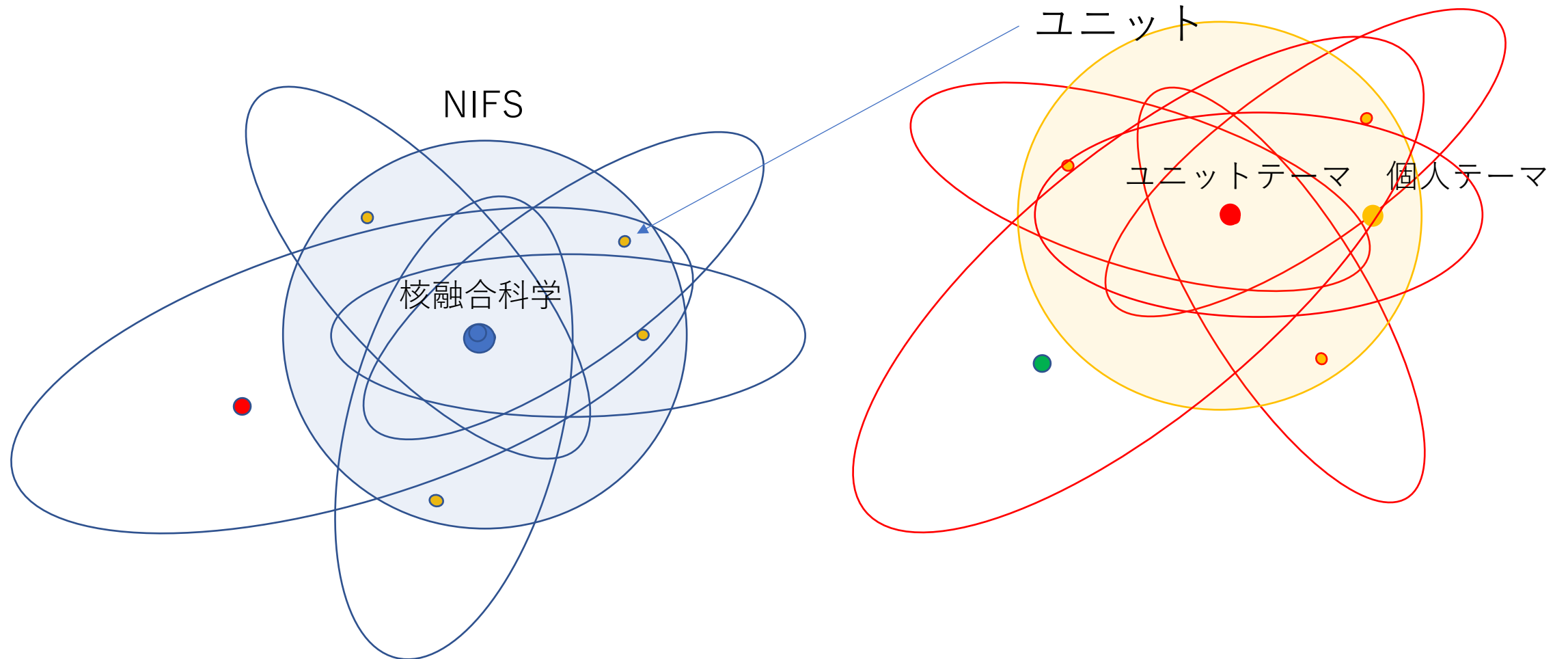
2022

post LHD
学術的展開

- LHDの総括 → 学術の「遺伝子」を拡散させる
- **ユニット** = 学術的テーマのもとに結集する研究チーム
- **プラットフォーム** = 学術研究基盤

「核融合科学」の分節化：ユニット

楕円： 個別性と共通性の統一



「ユニットテーマ」の考え方

- 未来志向であること （既存のテーマの後追いでない）
- 目標を具体的に示していること （永遠のテーマでない）
- 10年後に学术界に輝くテーマに育つこと （月並みでない）
- 多様な「個人のテーマ」を包摂できること （独りよがりでない）

機能体 Gesellschaft の成立要件

(1) aim, (2) member's ability, (3) ethics (respect), (4) information, (5) governance